

新たな中期経営計画「ジャンプ NIIGATA 2016」目標達成のために。



2016 年 1 月より船舶から排出される窒素酸化物 (NOx) 排出量を規制する国際海事機関 (IMO) の NOx3 次規制が北米及びハワイ、米国カリブ海沿岸海域で施行されました。今後その範囲が拡大されていくことが予想されます。排出規制は NOx のみならず硫黄酸化物 (SOx) や二酸化炭素 (CO₂) も今後段階的に強化されていきます。これらの規制は持続可能な社会を実現するために不可欠な地球規模でのニーズです。世界の文化的・社会的多様性が損なわれることなく社会開発が進められていくためには、自然環境と天然資源を守り、将来の世代に引き継いでいくことが求められています。

当社は継続的な技術開発により製品やサービスの環境性能を進化させています。社会のニーズに応え、さらにそのニーズを先取りしていく事こそが新潟原動機の最大の責務であり、この事により社会から求められる会社で有り続けることが出来ると考えています。

2016 年度より新しい中期経営計画「ジャンプ NIIGATA2016」がスタートしました。中国経済の減速、原油安による海洋分野の投資抑制、不透明な国際情勢と、厳しい経営環境でのスタートですが、これらの状況を見極めつつ、社会に求められる環境性能の高い製品やサービス

を提供するという本質を、ぶれることなく突き進めることにより目標は達成できると考えています。

既に「ハイブリッド・タグボート推進システム」「高効率ディーゼルエンジン 28AHX」「LNG（液化天然ガス）を主燃料とする船舶用デュアルフューエルエンジン 28AHX-DF」「高効率発電用ガスエンジン 28AGS」など、先進的な環境性能と高い経済性を有する製品の提供を開始しています。「ジャンプ NIIGATA2016」ではこれらの製品やサービスの拡大を通じて社会に貢献していきます。

事業活動の全てにおいて「全員参加」「社員一人ひとりが主役」「経営資源の投入」を通じて継続的に業務パフォーマンスの向上を図り、法令を順守し、お客様、取引先、地域社会などからの要請に応じて信頼される会社を目指します。

ここに環境報告書 2016 を発刊し、新潟原動機の社会・環境に対する活動を報告します。今後とも当社の活動に対しまして、ご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

新潟原動機株式会社
代表取締役社長 本山 和彦